

ハンググライディング日本選手権規則

1. 日本選手権開催年度と開催地

- 1-1. 日本選手権開催年度は1月1日より12月31日迄とする。
- 1-2. 日本選手権を開催しようとするものは、原則として各都道府県連盟内に日本選手権実行委員会を作り、日本選手権開催予定年度の2年前、12月までに開催希望表明をJHF・HG競技委員会へ提出しなければならない。
- 1-3. 日本選手権開催地は、日本選手権開催予定年度の前年1月のJHF理事会において本決定する。
- 1-4. 日本選手権開催予定年度の2年前12月までに開催希望表明が提出されない場合は、前年6月のJHF総会までにJHF・HG競技委員長は開催地を競技委員会にて決定し、当該都道府県連盟に開催要請をする。

2. 日本選手権開催規則

- 2-1. 日本選手権実行委員会は日本選手権開催日3か月前までに、公認大会申請をJHFに申請しなければならない。
- 2-2. 日本選手権開催前年に同規模のプレ大会を同一エリアで開催しなければならない。ただし、ハングシリーズ対象大会を開催経験のある開催地はその限りではない。
- 2-3. 日本選手権はFAI カテゴリー2対象大会とする。
- 2-4. その他の規則は公認大会規則に準ずる。

3. 使用機体

- 3-1. 使用機体はJHSCの認定した耐空性基準の適合が証明された型式の機体とする。
- 3-2. 認定以前については使用機体の原産国（メーカー）の耐空証明が認められたものとする。

4. 参加資格および人数

4-1. 参加資格

- 4-1-1. 日本国籍を有する各都道府県連盟推薦選手（オープン参加の外国籍選手は除く）。
- 4-1-2. JHF フライヤー会員登録が有効なもの。
- 4-1-3. JHF クロスカントリーパイロット技能証所持者。
- 4-1-4. 心身ともに健康で競技に支障をきたさない者。

4-2. 参加人数

- 4-2-1. 前年度ハンググライディングシリーズ10位までの選手10名。
- 4-2-2. 前年度日本選手権10位までの選手10名（重複しても繰り下げない）。
- 4-2-3. 各都道府県連盟推薦選手47名。
- 4-2-4. 開催県連推薦選手2名。
- 4-2-5. 学生連盟推薦選手2名。
- 4-2-6. 女子世界選手権の派遣選手養成を目的としたJHF/HG競技委員長が推薦する選手（最大6名）。
- 4-2-7. 残りの枠を定員まで、前年度ランキング順に上位から参加意思を示した選手に配分する。

4-3. 学生選手枠

- 4-3-1. 日本選手権枠に関しては、HG学生リーグの規定に準ずる。
- 4-3-2. ただし、JHF公認の学生フライヤー連盟主催大会のみとする。

5. 日本選手権係数

- 5-1. 世界選手権選抜ランキングに点数計上する際、日本選手権係数として10%を加算する。
- 5-2. クラス5に関しては、CIVLランキングの基準に準ずる。

6. 大会成立

- 6-1. 日本選手権としての成立要件は、成立競技におけるディクオリティーの合計が1.5以上であることとする。

6-2.クラス5に関しては、FAI カテゴリー2 成立をもって日本選手権成立とする。

6-3.ハンググライディングシリーズ運営規程の大会成立条件を満たしていることとする。

7. 表彰

7-1.総合1位選手を当年度の日本選手権者とする。また、女子参加選手人数が5名以上かつ参加選手の10%を満たした場合、女子1位選手を女子日本選手権者とする。